

青年会だより

ウィズコロナー青年たちの、今

久しぶりの集まり&国際的な交流も

Let's talk face to face (^_^)v

東海教区 青年会 古川のぞみ (高蔵寺教会)

8/11

私たち東海教区青年会はZoomによるオンライン青年会を定期的に行っています。そしてこの夏、久しぶりに対面での集まりを浜松教会にて開催することができましたのでご報告させていただきます。夏なのでBBQで盛り上がりたところでしたが、このようなご時世もあり昼食はサンドイッチパーティ(黙食)を楽しみました。

また、東海教区には様々な国からの実習生等の青年もいます。今回はインドネシアの青年からインドネシアの教会についてのお話を聞き、国際的な交流もすることができました。普段は画面越しに顔を合わせている人、また今回初めて会う人、色んな青年と共に時間を過ごすことができ夏の良い思い出になりました。今後もたくさんの青年の交わりの場としていきたいです。



今だから



たくさんの



いろんな体験

ウィズコロナー青年たちの、今

新 入生歓迎会&聖研、ボーリングも

Let's talk face to face (^_^)v

九州教区 青年会 廣瀬 知登 (長崎教会)

6/26

6月25日に九州青年会の新入生歓迎会が箱崎教会で行われました。なかなか対面が難しかった中で行われた久しぶりの対面での活動であり、新入生にとっては初めての対面での活動でした。まず初めにアイスブレイクをしたのちに聖書研究を行いました。

与えられた聖書の箇所は、ヨハネによる福音書14章6節イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」という箇所でした。池谷牧師の話を聞いたのちに、グループで思ったことをシェアしました。

聖書研究をした後はみんなでボーリングをして、親睦を深めました。久しぶりの対面の活動はとても楽しい時間を持てました。新入生も来てくれて、これからも青年会の活動が楽しみです。



いろんな思い



今こそ



シェアしよう

全国をつなぐ女性会の活動 Winds from North & South

札幌

教会女性会 徐々に復活中の様々な活動

会長 佐藤 順子

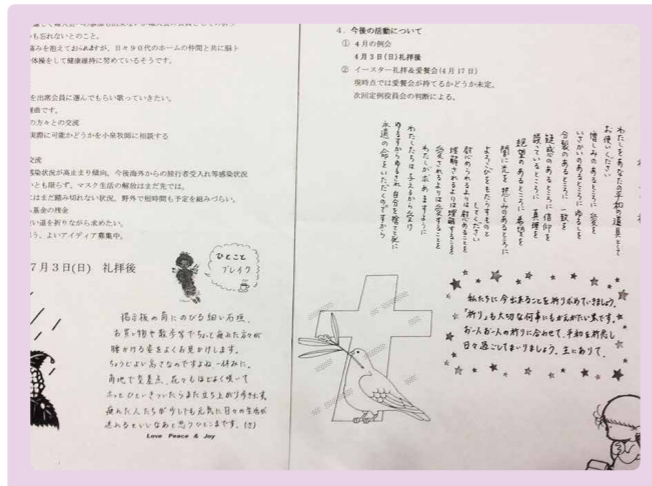
聖書研究が小泉基先生から伊藤早奈先生に引き継がれ、感謝と祈りの学びが続けられています。164号連盟会報では「ジェンダー平等を実現しよう」のテーマで当教会で宣教研修生として学ばれていた森下真帆牧師、そして8月から学ばれる三浦慎里子神学生の文が掲載されており、嬉しい事でした。

例会では会員さんの近況報告がされ、出席できなくても会員としての祈りを忘れないとの言葉に励まされています。少人数ながら毎回活発な話し合いがなされ、時間短縮に苦慮しています。

函館教会婦人会との交流を数年来模索していましたがコロナ禍となりZoomの交流を打診しました。須藤幸子会長との話し合いで、今すぐは難しいとお返事でしたので札幌婦人会例会の様子をお伝えすべく、書記の日笠山聡美さんによる例会報告をお送りしました。

継続していることは「北海道いのちの電話」と「どさんこ海外医療協力会」への寄付です。「どさんこ」は教会員であり医師の樫戸健次郎先生が中心となってネパールなどの発展途上国で医療ボランティアをされています。

24期女性会連盟より同会へ献金を頂き感謝でした。札幌では大通り公園のピアガーデン、大倉山スキージャンプ大会、北海道マラソンなど大きなイベントが3年ぶりに復活していますが、コロナの拡大も懸念されます。平和な日々が訪れますように祈りつつ。



▲ 会員みなさんの近況報告祈り&ひとこと @札幌教会

Winds from North & South 全国をつなぐ女性会の活動

函館

教会女性会 野の花の会より

会長 須藤 幸子

北海道も豪雨に見舞われる夏でした。泥水を被ったジャガイモやタマネギに、苦労して育てられた農家の方々のことを思うと心痛む日々でした。

7月、コロナの人数も少なくなってきたので、そろそろ例会を再開しようと考えていましたら、第7波とやらずに急が増え始め、例会再開は延期となりました。

それでも6月にはいつものように、わかちあいプロジェクトに古着を送ることができました。暮れには、希望の家に冬物を送る予定です。

秋には超ミニバザー「スモール・マーケット」(無人屋台式?)を計画中。近くにお越しの節は寄ってくださいます。

この夏、函館教会では、教会の入り口横に「花水手」ができました。毎週、その日に教会の庭に咲いている花を浮かべ、礼拝に集う信徒の心を潤しています。「今日はどんな花があるのかしら?」と夏の暑さとコロナの重苦しさを和らげてくれました。今はじっとガマンの時。小さな野の花にも心を寄せてくださる神さまを信じ祈ります。



▲ 教会入口で礼拝へ集う信徒を迎えてくれた花水手 (8月27日撮影) @函館教会